



平成31年1月29日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則  
( J A S D A Q ・ コ ー ド : 6 6 6 3 )

問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 経 営 企 画 部 長 園 部 直 孝  
電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

## 営業外費用の計上、通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成30年12月期において、下記のとおり営業外費用を計上しましたのでお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、平成30年1月30日付当社「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において開示した平成30年12月期（平成29年12月21日～平成30年12月20日）の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外費用の内容

連結子会社であるマイクロエンジニアリング株式会社が債務超過となったことに伴い、当社個別決算において、同社に対する関係会社事業損失引当金繰入額24百万円を営業外費用に計上いたします。

なお、関係会社事業損失引当金繰入額は連結上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

#### 2. 平成30年12月期通期連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,658	40	36	10	1.74
今回修正予想（B）	4,582	122	130	69	11.82
増減額（B－A）	△75	81	93	59	－
増減率（％）	△1.6	200.4	255.5	580.2	－
（参考）前期連結実績 （平成29年12月期）	4,238	△29	21	5	0.92

#### 3. 平成30年12月期通期個別業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,363	3	30	7	1.35
今回修正予想（B）	4,411	87	90	47	8.09
増減額（B－A）	47	83	60	39	－
増減率（％）	1.1	－	197.5	499.7	－
（参考）前期個別実績 （平成29年12月期）	4,022	△51	32	20	3.46

#### 4. 修正の理由

通期連結業績予想数値については、アジアを中心とした海外市場での外観検査機の販売が好調であった基板検査機事業における売上高増加の要因はあったものの、上期に引き続き商社事業における中小型ディスプレイ向けの液晶モジュール検査システムの販売、及び連結子会社のマイクロエンジニアリング株式会社が行っている検査システム事業における検査装置の受注が回復に至らなかったこと等から、売上高は当初予想を下回る見込みであります。損益については、基板検査機事業における売上高増加に伴う影響及び全社グループにおける設備投資等の抑制により、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益は当初予想を上回る見込みであります。

通期個別業績予想数値については、前記のとおり関係会社事業損失引当金繰入額を営業外費用に計上したものの、検査システム事業の影響を除いた通期連結業績予想数値の修正理由により、売上高、営業損益、経常損益及び当期純損益は当初予想を上回る見込みであります。

#### 5. 平成30年12月期配当予想

##### (1) 配当予想の修正内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		3.00	3.00
今 回 修 正 予 想		5.00	5.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (平成29年12月期)	0.00	3.00	3.00

##### (2) 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営施策のひとつとして位置づけていることから、内部留保の充実や配当性向等を勘案しつつ、収益状況に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。

前記のとおり、平成30年12月期の連結売上高は前回予想を下回ったものの、利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

つきましては、当該方針に基づき、配当予想を従前の1株当たり3円00銭の期末配当金（年間配当金3円00銭）から2円増配し、1株当たり5円00銭の期末配当金（年間配当金5円00銭）に修正いたします。なお、本件については、平成31年3月19日開催予定の第58期定時株主総会に付議する予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上